

令和8年8月14日

各位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 東証グロース市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03 - 6225 - 2161)

営業外収益の増加、営業外費用の増加、特別損失の計上及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

当社は、令和8年9月期第3四半期連結累計期間（令和7年10月1日～令和8年6月30日）において、下記のとおり営業外収益（為替差益）、営業外費用（持分法による投資損失）が増加、また特別損失（貸倒引当金繰入額）及び法人税等調整額（益）を計上することになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益（為替差益）の増加及びその内容
第2四半期連結累計期間では、外貨建て債権債務の簿価と期末為替換算レートによる評価額との差により、67百万円の為替差益を計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間では為替レートがさらに円安に進んだことにより88百万円の為替差益を計上することとなりました。
2. 営業外費用（持分法による投資損失）の増加及びその内容
第2四半期連結累計期間では、持分法適用関連会社でありDigital Finance事業を営んでいるGroup Lease PCL.の業績を取り込んだ結果、317百万円の持分法による投資損失を計上しておりましたが、当第3四半期連結累計期間では938百万円増加し1,255百万円の持分法投資損失を計上することとなりました。
3. 特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上及びその内容
連結決算の処理を検討する過程で、当社が保有している貸付金等の債権の回収可能性を見積もった結果、1,384百万円の貸倒引当金繰入額を計上することとなりました。

なお、持分法による投資損失及び貸倒引当金繰入額の詳細の内訳につきましては別途お知らせしております「特別損失（貸倒引当金繰入額）の計上及び関係会社株式（持分法適用関連会社株式）の評価減に関するお知らせ」を参照ください。
4. 法人税等調整額（益）の計上
GL社敗訴判決等の一連の事象を受け、EHAグループ全体で税効果会計を見直した結果、法人税等調整額（益）28百万円を計上しております。
5. 今後の見通し
上記につきましては、令和8年8月14日付「令和8年9月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以上